

《開催場所》

- 【A】 森の音楽堂（雨天時は「子どもホール」1階）
- 【B】 北口総合案内所 / 【C】 南口総合案内所
- 【D】 子どもホール横広場（雨天時は「子どもホール」1階）

9:30 ~ 12:00 動物無料なんでも相談 【C】

9:30 ~ 12:00

捨て猫・捨て犬防止キャンペーン抽選会受付 【A】【B】【C】
※抽選会は 12:20~12:30 森の音楽堂にて実施

10:00 ~ 12:30 アニマルメイク 【D】

10:30 ~ 11:35

式典（主催者挨拶、長寿動物・凶画・作文表彰等）【A】

11:00 ~ 12:00 ※雨天時は中止

どうぶつのお医者さん体験コーナー 【D】

11:35 ~ 11:55 警察犬デモンストレーション 【A】

11:55 ~ 12:20 マジックバルーンショー 【A】

※その他、森の音楽堂で消防音楽隊による
演奏（10:00~）や、
子どもホール2階で動物愛護凶画・作文の
入選作品展示（9/20~9/26）を開催予定。

※すべてのイベントは、都合により、時間・内容が変更になる
場合があります。

※詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

 **到津いとつの森公園**
森の仲間たち

「到津の森公園」公園事務所
小倉北区上到津4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.kpfmmf.jp/zoo/>

森のお便り 9月号 2014年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」14年9月1日発行 通巻139号

到津の森公園

動物愛護デー



(入園料無料デー)

9月23日(火・祝) 9:00~18:00

子どもから大人まで、入園料無料でお楽しみいただけます。
動物愛護センター、北九州市獣医師会などによるイベントが
盛りだくさん！
また、当日は閉園時間を延長して夕方6時まで営業します。

※駐車料金、遊具利用、工サやいは通常通り有料です。



動物慰霊祭

~ 昨年の慰霊祭以降、これまでに当園で亡くなった動物たちに献花します ~
来園者の皆さんにもご参加いただけます。

開催日時: 9月23日 9:30~10分程度

開催場所: 郷土の森林 動物慰霊碑前

※詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

花暦 長月

そろそろ秋の足音が聞こえてくる頃になって、遅まきながら「森の仲間たち 里山ガイドグループ」藍島かけ足遠足の報告をさせていただきます。

活動のある日、北九州市内で最大の島、猫の島としてよく耳にする藍島へ一度行ってみよう、と話がまとまり決定。

さて当日、市営渡船待合所は小倉北口から徒歩8分。しっかり年長者施設利用証を使って往復切符を800円でゲット。思いのほか立派できれいな渡船の屋上デッキに上がれば、海水浴目的らしい母子連れや釣り三昧と話す紳士など、上機嫌の人達でほとんど席も埋まっています。

清々しい海風に体をゆだねて、海峡兩岸の景色を眺めているうちに、響灘へ。たまの波しぶきさえ楽しい旅を予感させてくれているようです。

馬島を経て藍島へ着岸。小さな舟だまりでは島の子達が普段着のまま、海へ飛び込んでまた飛び込んで、歓声をあげています。

さて周囲13kmの島内へ入ってゆきましょう。どんな海岸性植物に出会えるか楽しみです。

ハマユウが民家の庭先に植えられているなど眺めていると、水たまりの傍に何とも凄い名前ママコノシリヌグイが見えてきました。えげつなく素晴らしい命名の代表だけど、タデ科の可愛い花で、特に海岸性ではありません。

メインロードをゆくと、お目当ての猫たちの大きな集団に出会いました。ゆったり和んでいて私達の呼び声に寄ってきて、フードを食べたり、なでなでをせがんだり、人に慣れていてお利口さんばかり、猫びいきのメンバー達には至福のひとつです。気になっていたフンやフードの残りは見あたりません。道は掃き清められています。NPOや地元の方が気を付けておられるのでしょう。頭の下がる思いです。

真昼の島は人影も見あらず、トンビの声のんびり聞こえてくるばかり。北端へ向かう道をゆっくり歩くと、右手の斜面にピンクの2~3cmもありそうなマメ科特有の蝶型の花を見つけました。何とも美しく、栽培されたものかと思える程です。花の付き方はクズそっくりで葉も同じ形、厚目の紙のようにゴワゴワしています。同行メンバーも見事な事ないとの事。カメラに収めて気になりながら先をゆくと、おうっ！白洲灯台が見えてきました。(続く)

ハマナタマメ(マメ科)

暖地の海岸に生えるツル性植物。花は桃色で穂状に咲く。流れついた砂地で種子が芽吹く。生命力は強く、浜から陸上へ広がり群落を作る。ナタマメと同じく、歯磨き剤・茶などに使われ、完熟すると毒性があるが薬用に使うこともある。

文:花咲くおばさん

森のなかま・フクロテナガザル

待望の赤ちゃん誕生！

今年の1月10日、到津の森公園では実に19年ぶりとなる、フクロテナガザルの赤ちゃんが生まれました。

生息地の東南アジアでは絶滅の危機にさらされ、日本では30頭あまりしか飼育されていません。希少種の待ちに待った誕生ですが、手放しでは喜ばない事情がありました。母親が赤ちゃんを育てようとしません。母親による子育ては難しいと判断し、赤ちゃんを母親と隔離しました。飼育係が母親代わりとなる「人工哺育」のスタートです。

母親代わり、と言えば聞こえはいいものの、さまざまな面で本当のお母さんには敵いません。さらに、人間に育てられたことで「フクロテナガザルらしさ」を直接学ぶことが出来ない点も、心配なところです。

両親のもとに帰った時、正しいコミュニケーションがとれるだろうか。いつか母になる時が来たら、わが子を育てることが出来るのだろうか。心配は尽きません。現在では体重も誕生時の4倍ほどになりました。

そして、元気いっぱい輝いてほしい、という願いをこめ、インドネシア語で「太陽」という意味の「アロナ」と名付けました。天気の良い日は、担当者と一緒に園内で日光浴をしています。

アロナの成長を、末永く見守っていただけたら嬉しいです。



飼育展示係 福井 智太